

こんなこともやっています。

さいたま市教育委員会交流会

令和元年10月18日、今年もさいたま市教育委員会との交流会が開催された。

第一部は、市PTA協議会副会長が「コーディネーターを務め、特別委員会青羽委員長より「PTAガイドブック」についての説明があった。このガイドブック発行に際しては、各区P連によって賛否両論あるため、青羽委員長の話に注目が集まつた。PTAにおいて個人情報の取り扱いに細心の注意を払う必要があること、またPTAは任意団体であるということを保護者に説明した上で、PTAの目的や役割、家庭、学校、地域との連携が不可欠であるなど、PTAの重要性を理解し加入していくたく必要があるということを話された。

その後、市PTA協議会会長、教育委員会竹居部長、小学校長会会長並木先生、中学校長会会長大谷先生もティスカツシヨンに参加し、さいたま生涯学習都市意識調査や生徒の学習到達度調査の内容などに触れ、家庭教育の重要性を力説した。

最後に、細田教育長よりご挨拶があり第一部は終了となつた。

第一部では、教育委員会の方々、PTA会長、学校長たちが意見を交わし、有意義な交流会となつた。

さくらま市教育委員会懇話会

令和2年3月5日
令和2年3月5日
さくらま市PTA協議会
広報情報委員会
事務局
印刷

No.38

令和2年3月5日

発行
編集
事務局
印 刷

さくらま市PTA協議会
広報情報委員会
さくらま市大宮区吉敷町1-124-1
大宮区役所4F
TEL 048-647-4401
株式会社エース廣告

PTAについて知りたかったこと 全部答えます! ～次の世代につなげる活動の為に～

運営マニュアルではなく、全保護者へのガイドブックになつた理由

平成29年5月30日に「個人情報保護法」が改正されたことをきっかけに、さいたま市PTA協議会では、PTA入会についての意思確認と、個人情報の取扱いについての同意を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んできました。

そうした中で、教育委員会とさいたま市PTA協議会は、昨今のPTAの活動の意義や重要性を役員だけが理解するのではなく、全保護者一人ひとりが考える機会としていただきたいと考えています。

そこで、学校とPTAがPTA活動の重要性や魅力を発信するために共通認識を持つよう、教育委員会では、PTA入会についての意思確認と、個人情報の取扱いについての同意を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んできました。

へと繋がるものであり、各校のPTA活動を強く支える力になるはずです。

また、ガイドブックを各家庭に配付することで、PTA活動の意義や重要性を役員だけが理解するのではなく、全保護者一人ひとりが考える機会としていただきたいと考えています。

仕事や家庭の事情などで、PTA活動に時間を取りるのが難しい保護者が増えたり、ネットやメティアでPTA不要論が取り沙汰されるなどの近年の社会状況の変化の中で、皆さまにPTAの在り方とその活動について、一人ひとりが一緒に考えていくようとの願いを込めて、この度、全国初の「全保護者向け」ガイドブックを発行しました。

PTAについて知りたかった8つのこと

- ①PTAは任意って本当?
- ②PTAに入らないと、子どもに不利益があるの?
- ③学校の集金とPTAの集金とはどう違うの?
- ④学校に伝えている個人情報がPTAを通じて他の保護者に知られてしまうのでは?
- ⑤できる人ができる時にが大原則
- ⑥女性が多くて男性はかかわりにくい・・・?
- ⑦PTA役員をやってる人は、なぜやってるの?
- ⑧実際PTAってなくなったらどうなるの?

「加入」「活動内容」「お金(会費の使い道)」のことなどについて分かりやすくまとめました。

全国初!『全保護者向け』PTAガイドブック発行



そこで、学校とPTAがPTA活動の重要性や魅力を発信するために共通認識を持つよう、教育委員会では、PTA入会についての意思確認と、個人情報の取扱いについての同意を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んできました。

そうした中で、教育委員会とさいたま市PTA協議会は、昨今のPTAの活動の意義や重要性を役員だけが理解するのではなく、全保護者一人ひとりが考える機会としていただきたいと考えています。

そこで、学校とPTAがPTA活動の重要性や魅力を発信するために共通認識を持つよう、教育委員会では、PTA入会についての意思確認と、個人情報の取扱いについての同意を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んできました。

へと繋がるものであり、各校のPTA活動を強く支える力になるはずです。

また、ガイドブックを各家庭に配付することで、PTA活動の意義や重要性を役員だけが理解するのではなく、全保護者一人ひとりが考える機会としていただきたいと考えています。

そこで、学校とPTAがPTA活動の重要性や魅力を発信するために共通認識を持つよう、教育委員会では、PTA入会についての意思確認と、個人情報の取扱いについての同意を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んできました。

へと繋がるものであり、各校のPTA活動を強く支える力になるはずです。

また、ガイドブックを各家庭に配付することで、PTA活動の意義や重要性を役員だけが理解するのではなく、全保護者一人ひとりが考える機会としていただきたいと考えています。

新しいPTAのカタチを求め

本部	新規会員会
◆ベルマーク講習会参加	◆各学期懇親会日に集計
◆テラバッヂ、イング	お正月のつどい
カードリーリング回収・送付	◆月第2・4曜日AM開催
◆イオン黄色いシート	・イベント(かるたあそび)
◆店頭回収	・受付・自転車整理
◆与野西中学校美化活動	
参加協力	

活動の一部を移行

決まりない係

決

新しいPTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①雰囲気づくり～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

①より魅力的な活動～自ら魅力的な集団となる

②より多くの対話～対話の窓口の明確化

③より魅力的な活動～両立できる活動の合理化

新しいPTAのカタチを求めて

PTA活動の一層の推進のために

研究発表を紹介します。

令和元年度日本PTA会長表彰を受けた、鈴谷小学校による

研究発表を紹介します。

鈴谷小学校PTAのVISION

新しいPTAのカタチを求めて

はじめてに・・・

今年度から、さいたま市教育委員会では「コミュニティ・スクール」という制度を市立学校に導入し、子どもたちが豊かに育つよう、地域との絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにも繋がるような学校づくりを目指しています。さいたま市PTA協議会としてもこの制度を深く理解し、保護者の皆様と共有します。

【コミュニティ・スクールとは?】

「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会を設置した学校」のことです。学校運営協議会は、保護者や地域住民が直接学校運営に参画し、学校運営の改善と児童生徒の健全育成に取り組むことを目的として、主に次の3つの機能があります。

①校長が作成する学校運営の基本的な方針を承認する。

②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。

③教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができる。(但し、特定の個人に対する事項を除く)

これからはじまるコミュニティ・スクール

【子ども・学校にとってのメリット】

保護者や地域住民等と学校が、顔が見える関係となり、相互の理解と協力を得た学校運営ができる。

・学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域住民等が充実する。

・学校が保護者や地域住民等と一緒に諸課題に対する対応を考えることができます。

・目標を共有することにより、地域の力を生かした教育活動が展開され、学校での学びがより豊かに広がり子どもの学びが充実する。

・学校の応援団となる。学校が保護者や地域住民等と一緒に諸課題に対する対応を考えることができます。

・保護者や地域住民等も子どもたちの教育の当事者となることにより、責任感を持つ積極的に子どもへの教育に関わり、保護者同士や地域の人々とのつながりが生まれる。

・地域の方々の豊かな知識や経験、技量を学校の教育活動に取り込み活躍の場を創出していくことで、一人ひとりの生きがいや自己有用感をはぐくみ、地域の力を高めていくことができる。

・地域の課題解決に向けた取り組みや大規模災害等の緊急対応時に、学校と地域が一体となって取り組むことができる。

・保護者にとっては、学校や地域に対する理解が深まることで、地域の中で子どもが育てられている安心感が生まれる。

・学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよどりどころとなる。

・保護者に向けた取り組みや大規模災害等の緊急対応時に、学校と地域が一体となって取り組むことができる。

・地域の力が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよどりどころとなる。

・保護者に向けた取り組みや大規模災害等の緊急対応時に、学校と地域が一体となって取り組むことができる。

・地域の課題解決に向けた取り組みや大規模災害等の緊急対応時に、学校と地域が一体となって取り組むことができる。

「コミュニティ・スクールの実施校報告

合同学校運営協議会準備委員会発足



第1回準備委員会

(平成30年11月20日、於桜山中)
冒頭に指定書、委嘱状、任命状が交付され、全員の自己紹介の後、準備委員会の会長、副会長の選任に移り、会長には古くから両校と深く関わり信頼のある民生児童委員など役職を持つ野邊哲治氏が選任された。そして第1回の熟議が行われる。まず、保護者を対象に前もって行われた「学校と地域に関するアンケート」の集計結果をもとに代表別のグループに分かれ「子どもたちにどんな力を身につけさせたいか?」について各々意見をすべて書き出した。議論、発表、意見交換をし次回までさらに各自深めてくることを確認終了した。

そもそもコミュニティ・スクールとは何か?いくべきなのか?説明を受け言葉では理解できたものの、今後進めていくためには各委員が努力し理解を深めることが不可欠と思えた。話され、野邊会長のあいさつでは防犯ベルの実情について話され「いざという時に防

第3回準備委員会

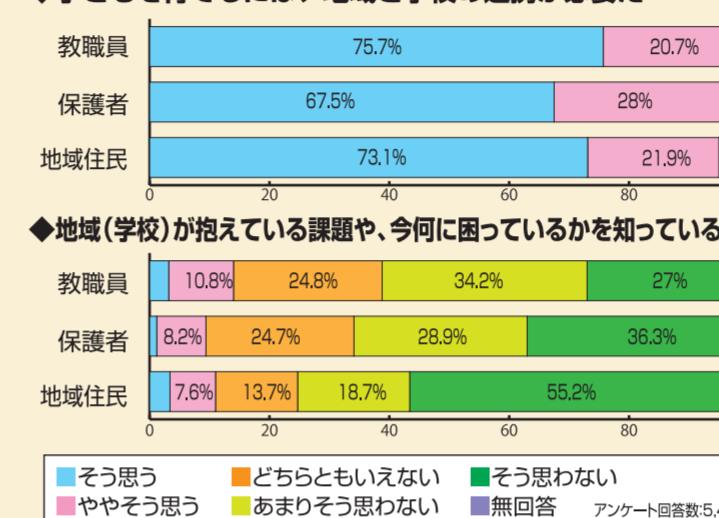
(平成31年1月24日、於桜山中)
いよいよ熟議のまとめである。冒頭のあいさつで、教育委員会担当職員の方からは、「コミュニティ・スクールフォーラムにおいて講演された大学教授の講話の中で「なかなか上手いかない現状がある。地域との密な連携、関係性の向上が大事である」とコミュニティ・スクールの重要性を認められた。

「コミュニティ・スクールでできることは多種多様です。各校の地域性、その年々のメンバーの独自性得意分野を活かした音楽会が生まれ実践され各校互いに刺激になる道である。

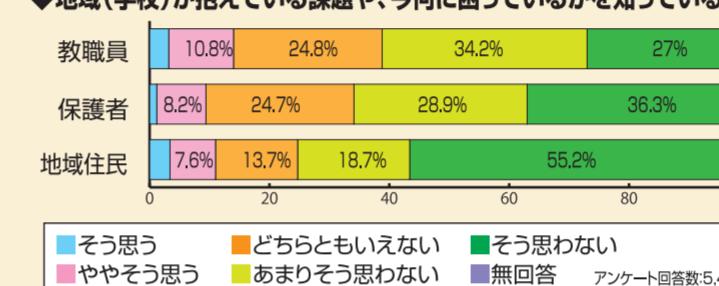
市民意識調査の結果

令和元年7月、さいたま市教育委員会で、教職員・保護者・地域住民にアンケートを実施した結果の一部を紹介します。

◆子どもを育てるには、地域と学校の連携が必要だ



◆地域(学校)が抱えている課題や、今何に困っているかを知っている



■ そう思う ■どちらともいえない ■そう思わない
■ややそう思う ■あまり思わない ■無回答 アンケート回答数5,400

制度制定の背景

今日本は人口減少や高齢化の進行に伴い家族形態や地域社会の変化、また、個人の価値観やライフスタイルが多様化し、地域社会のつながりや支え合いの希薄化により、セーフティネット機能が低下していると指摘されています。子どもたちが健全に育つために、学校・家庭・行政が連携・協働し、地域全体を学びの場として捉え、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための「仕組み」が必要です。「コミュニティ・スクール」はそのための仕組みです。

「熟議」、「協働」とは?



音楽会決定に至った経緯と

当日までの様子

PTA会長と主任児童委員との交流会で、音楽会の上位となる鍵盤ハーモニカの演奏を行っているが、各委員の熱い思いの伝わる様々な案がだされた。

・未就学児とともに親わり連携させていくのか?
・宿題教室の設置で家庭学習を補い保護者連携して何か行えないか。
・縦縛がりの充実が重要、生きるために必要なことの勉強会。
・給食をもとにした地域全体の試食会などを実施する。
・どの関わりを深める。

・各委員会から挙げられた案を絞っていく上でも重要な鍵は、保護者や地域住民に関心を持つてもらうにはどのように呼びかけるか?そのためには何が良いのか?であります。

・未就学児とともに親わり連携させていくのか?
・宿題教室の設置で家庭学習を補い保護者連携して何か行えないか。
・縦縛がりの充実が重要、生きるために必要なことの勉強会。
・給食をもとにした地域全体の試食会などを実施する。
・どの関わりを深める。

最後に…

文部科学省の調査では、令和元年5月1日現在、全国の公立学校における「コミュニティ・スクール」の実施校数は7,601校、導入率では21.3%となっています。さいたま市では、今年度を「熟議」と呼ぶが交わされます。学校と地域が手を取り合い、地域の未来を担う子どもたちを育むために、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現していくのか」というビジョンを共有し、様々な取組を実行していく。例えば日頃から地域で行われている、子どもたちへの学習支援や登下校の見守り、学校の環境整備、チャレンジスクールをはじめとする様々な体験活動等を通してビジョンを実現していくきます。

